

# 国保病院からのお知らせ

雄武町国民健康保険病院に3月8日付けで平岡裕樹医師が着任し、内科医長に就任いたしました。

今回、町民の皆さんへのご挨拶について寄稿いただきましたので、平岡医師のご紹介と併せてお知らせいたします。



ひら おか ゆう き  
**平岡 裕樹 内科医長 (38歳)**  
日本内科学会認定医

## 【略歴】

(最終学歴)

平成24年 3月 杏林大学医学部卒業

(主な職歴)

平成24年 4月 公立八女総合病院 (福岡県)  
平成26年 4月 久留米大学病院 (福岡県)  
平成27年 3月 済生会大牟田病院 (福岡県)  
平成28年 4月 公立八女総合病院 (福岡県)  
平成29年 11月 久留米大学病院 (福岡県)  
平成30年 4月 国立病院機構九州医療センター (福岡県)  
平成31年 3月 標津町国民健康保険標津病院 内科医長



## 【着任のご挨拶】

このたび、3月から雄武町国保病院内科医長を拝命させていただきました。

もともと福岡県出身で、福岡県内の九州医療センターの呼吸器内科医として、肺がん、<sup>ぜんそく</sup>喘息などを主として診療してきました。ちょうど2年前に北海道の病院に一般内科医として赴任する機会を得て、道東の標津町に内科医として勤務してまいりました。雪もろくにみたこともない地域で育ちましたので、最初は北国の生活に戸惑いましたが、魅力を感じ、定住することを決めました。

雄武町は、いわば私には縁もゆかりもない土地にはなりますが、優しい住民の方々のお人柄や、豊かな自然に触れ、毎日楽しく過ごさせていただいております。皆さんの隣人として、気軽に長期お付き合いしていただけますと幸いです。

桂巻院長先生のもと、雄武地域の方々の健康維持に微力ながら貢献してまいります。今後ともよろしく願います。

## 【雄武町国民健康保険病院】

雄武町字雄武 1482 番地の 2

☎ 84-2517

ホームページ

<http://www.town.oumu.hokkaido.jp/hospital/>

## 【診療時間】

8時30分～12時00分  
(受付 11:30 終了)

13時30分～17時15分  
(受付 16:15 終了)

※診療日程の詳細は 19 ページに掲載



## まちのできごと

### 3/5 NPO法人おうむ夢プロジェクト 益子町「紅あずま」を寄贈 特産品で交流と元気を

NPO 法人おうむ夢プロジェクトから、1月のいちごの寄贈に引き続き、町内小中学校に雄武町と交流のある栃木県益子町の特産品「紅あずま(サツマイモ)」の寄贈がありました。

例年実施していた益子町との交流が、新型コロナウイルス感染拡大の影響で令和2年度は中止となったことから、益子町との交流の一環として同法人が寄贈したものです。

寄贈されたサツマイモは学校給食で振舞われ、児童は「家でも食べたい」と「紅あずま」の味に大満足の様子でした。



↑サツマイモの天ぷらにかぶりつく児童

↓表彰状を手にする高橋昇氏



### 3/8 北海道社会貢献賞伝達式 北海道社会貢献賞を受賞

民生児童委員を務める共栄の高橋昇さんが、北海道社会貢献賞(社会事業関係労者)を受賞され、この日、役場会議室で伝達式が行われ、町長から表彰状が手渡されました。

高橋さんは、平成13年12月から長年にわたり民生児童委員として社会奉仕の精神をもって町内の社会福祉の増進に貢献された功績が認められ、受賞に繋がりました。

受賞を心からお喜び申し上げるとともに、ますますのご活躍を祈念いたします。

### 3/4 豊丘小学校職業体験 役場と保育所で職業体験

豊丘小学校6年生の児童3人が職業体験で、役場と若草保育所を訪れました。役場では、パソコンを使用して報告書の作成に取り組み、真剣な様子で作業を行っていました。若草保育所では、園児たちと一緒に遊ぶことで、園児とのかかわり方の体験を行いました。児童たちは最初は、年の離れた園児たちとどう遊べば良いか悩んでいたようですが、一緒にジグソーパズルや塗り絵をしていくうちに徐々に仲良くなっているようでした。



↑園児とジグソーパズルを行う児童

↓人権擁護委員から啓発物品を手渡される沢木小学校児童



### 3/9 町内小中学校に人権啓発物品を配布 大切に使います

地域人権啓発活動活性化事業の一環で、人権擁護委員雄武会の山岡良佳治会長ほか2人が町内小中学校を訪問しました。山岡会長から児童に向けた人権擁護のメッセージを伝え、トートバックやカラーペンなどの啓発物品を手渡しました。児童は「大切に使います。これからも皆と仲良く過ごしていきたいです。」とお礼を伝えました。